



一般社団法人日本粘土学会 2021年度総会議案書

日 時:令和3年9月14日(火)11:00~12:00

場 所:信州大学長野キャンパス C3 棟(講義棟)2階 200 番教室(長野県長野市若里 4-17-1)
および WEB 会議室

総 会 次 第

開 会

総会の成立報告

会長挨拶

議長の選任

議事録署名人の指名

I. 審議事項

第1号議案 2021 年度事業報告

第2号議案 2021 年度会計決算報告及び監査報告

第3号議案 2022 年度事業計画

第4号議案 2022 年度収支予算

第5号議案 名誉会員の推薦

II. 報告事項

1. 2021 年度学会賞等の受賞者

2. 2021 年度学術振興賞受賞候補者の応募と審査結果

3. 第 64 回粘土科学討論会の開催状況

4. その他

閉 会

I. 報告事項

第1号議案 2021 年度事業報告

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度事業報告書

(2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

2020 年 8 月：第 59 巻 2 号を発行。掲載内容は、日本粘土学会 2020 年度総会案内、論文、解説、学会記事、その他。

2020 年 8 月：粘土科学ウェブサイトにおいて執筆要領の修正を行った。

2020 年 9 月：粘土科学ウェブサイトにおいて編集委員会編集委員リストの更新を行った。

2020 年 11 月：粘土科学ウェブサイトにおいて掲載同意書の修正を行った。

2020 年 12 月：第 59 巻 3 号を発行。掲載内容は、2020 年度日本粘土学会 学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告、2020 年度学術振興賞の受賞報告、2021 年度日本粘土学会 学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、2021 年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第 64 回粘土科学討論会の予告、研究グループ活動状況報告、論文、学会記事、その他。

2021 年 1 月：学協会著作権ポリシーデータベースに著作権ポリシーを提供した。

2021 年 1 月：EBSCO 社へコンテンツ提供の契約を行った。

2021 年 3 月：第 60 巻 1 号を発行。掲載内容は、第 64 回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み等）、解説、学会記事、その他。

2021 年 3 月：粘土科学ウェブサイトにおいて執筆要領、掲載同意書、広告掲載申込書の修正を行った。

本年度の論文受付数：1 編、受理数：2 編、審査中：0 編

(2) Clay Science

[論文投稿と発行の状況]

2020 年 9 月 16 日：2021 年度第 1 回 Clay Science 編集委員会（Microsoft Teams）

2020 年 12 月 31 日まで：論文 3 編を受理し、Vol. 24, No. 3-4 発行準備へ移行。

2020 年の論文受付：6 編、受理 5 編、却下 1 編。

2021 年 2 月 10 日：24 巻 2-4 号を発行。

2021 年 5 月 17 日まで：論文 4 編を受理し、25 巻 1-2 号発行準備へ移行。

2021 年 6 月 30 日：25 巻 1-2 号を発行。

2021 年 6 月 30 日現在：受付 7 編、受理 6 編（荒川さんの学術基金賞論文を含む；うち 4 本を 25 巻 1-2 号に掲載）、査読中 1 編。

[その他の報告事項]

2020 年 9 月 16 日：2021 年度第 1 回 Clay Science 編集委員会（Microsoft Teams）。

2020 年 11 月まで：海外アドバイザー（Advisory Editors）の名簿更新（次回名簿更新時（2022 年 10 月）に追加を考えるのがよいと思われる。）、編集委員長、編集委員、アドバイザーの名前を HP 上に直接掲載

2021 年 4 月 1 日：J-Stage にて早期公開機能利用開始。会員あてメールを送付し周知を図った。

2021 年 4 月 15 日：会員あてに投稿依頼メールを送付した。

2021 年 4 月 16 日：原稿執筆要領、掲載同意書の改訂（税込表示義務化対応）。

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 2020 年 第 64 回粘土科学討論会(信州大学)の開催

2020 年 9 月に予定されていた第 64 回粘土科学討論会(信州大学)は、新型コロナウイルスの影響により中止となり、2021 年に延期されることとなった。

(2) 2021 年 第 64 回粘土科学討論会(信州大学)の準備

- 1) 開催予告(会期と会場)を、first Circular として、ホームページおよび会誌「粘土科学」(第 59 巻第 3 号 2020 年)にて公表した。
- 2) 第 64 回粘土科学討論会のお知らせ(案)を作成し、2021 年度第 2 回常務委員会および理事会(2021 年 1 月 23 日)にて審議され一部修正を含め承認された。承認された「第 64 回粘土科学討論会のお知らせ」をホームページおよび会誌「粘土科学」(第 60 巻 第 1 号 2021 年)にて公表した。
- 3) 新型コロナウイルスの収束がみえないため、発表形式等が臨時理事会(2021 年 5 月 29 日)にて審議された。審議の結果、ポスター発表はリモートおよびオンデマンド方式で 9 月 16 日から 18 日に実施されることとなり、そのため期間が 2021 年 9 月 14 日(火)～18 日(土)へと変更され、また懇親会は中止となった。改訂された「第 64 回粘土科学討論会のお知らせ」をホームページに掲載するとともに会員にはメール配信した。
- 4) 参加登録および一般講演・シンポジウム講演の申し込みについて、申し込み状況をみて、期限を 7 月 10 日(土)まで延長した。
- 5) 発表件数(8 月 21 日現在)以下の通りである。
口頭発表件数(シンポジウム除く): 39(内訳、会員 22、学生会員 6、非会員 3、学生非会員 8)
ポスター発表件数: 20(内訳、会員 10、学生会員 2、学生非会員 8)
- 6) プログラムを作成し、粘土科学およびホームページに掲載した。

3. シンポジウム・セミナーの開催

第 64 回粘土科学討論会シンポジウムテーマの準備

2020 年 12 月: 第 64 回粘土科学討論会のシンポジウム企画について企画委員会内で再審議し、企画案「粘土科学における SDG s」を実施する事で決定した。実行委員会とシンポジウム開催方式の打合せを行った。

2021 年 1 月: シンポジウム講演の方式をオンライン講演も含めたハイブリッド型とした臨時理事会の決定事項を講演予定の講師に連絡、要旨の準備を依頼した。

2021 年 6 月: 特別講演(40 分)に続き、シンポジウム開催時間約 3 時間(講師 5 名、講演時間 40 分/1 人)でスケジュールリングした。

2021 年 7 月: 講演要旨をとりまとめ、実行委員会に提出した。

4. 参考粘土試料

2021 年 8 月現在、参考粘土試料として、カオリナイト(関白)、ディッカイト(勝光山)、パイロフィライト(勝光山)、モンモリロナイト(月布・三川)、合成サポナイト(クニミネ工業)、ハイドロバイオタイト(南アフリカ)の 7 種類を頒布している。

2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日までの頒布状況は以下の通りである。

JCSS-1101 カオリナイト(関白)	900g
JCSS-1301 ディッカイト(勝光山)	400g
JCSS-2101 パイロフィライト(勝光山)	600g
JCSS-3101 モンモリロナイト(月布)	2,900g
JCSS-3102 モンモリロナイト(三川)	500g
JCSS-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)	1,400g
JCSS-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)	900g

申込件数は 26 件(昨年度は 20 件)で、その内、海外からの申込は 3 件であった。

海外からの購入申込の場合、クレジットカード支払いができない場合に限り銀行振込での支払いに応じており、その送金に係る諸手数料は全額購入者負担としているが、1件の申込において送金に係る手数料が購入者において負担されず、請求額から手数料が差し引かれる事例が生じた。この対処として、2021年7月16日までに学会ホームページ（英語ページ）・参考粘土試料申込書（英語版）において、銀行振込での支払いの場合には送金に係る諸手数料は購入者負担となる旨を明記することとした。

5. 広報

(1) ホームページ

2021年2月：「参考粘土試料」「Clay Science」の更新

2021年3月：「クニミネ工業」の英語版バナーの掲載、「粘土科学」「Clay Science」「総会等議事録」の更新

2021年4月：「粘土科学討論会」「参考粘土試料」の更新

2021年6月：「粘土科学討論会」の案内・参加申込の開始、「協賛」の案内

2021年7月：「粘土科学討論会」の参加申込み延長・講演プログラムの公開、「協賛」の案内

(2) Twitter

適宜情報を発信。

(3) バナー広告

2021年5月：クニミネ工業のバナー広告契約を1年延長していただいた。契約期間は、2021年6月から2022年5月までの12カ月間。

6. 渉外

2021年7月にイスタンブールで開催予定(2022年度に延期)の17th ICCには、“History of Clay Societies”と題するセッションが立てられており、本会にも講演の誘いがあった。本会からは小暮会長が講演することとなった。AIPEAからAIPEA Fellows ProgramとAIPEA Medalsの推薦募集、および、17th ICCに関連したBradley AwardとStudent Travel Fundsの応募案内があった。その内容を記した電子メールを、2020年12月18日に会員あて送付した。2021 AIPEA Newsletterの原稿を作成し、2021年1月4日に送付した。米国粘土学会の年会と第5回アジアンクレーの共同開催に関する協議は、前回の総会以降進展していない。

7. 表彰

(1) 学会賞等

2020年9月15日開催の2020年度表彰式で、次のとおり学会賞等の受賞者が表彰された。

学会賞 田村 堅志（国立研究開発法人物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点）

受賞題目「粘土鉱物層間にはたらく力の精密制御に基づく機能性粘土複合材料の研究」

功績賞 和田 信一郎（(株)アステック 技術開発研究所）

受賞題目「粘土鉱物学を応用した土壌環境分野の研究を通じた粘土科学発展への貢献」

奨励賞 向井 広樹（筑波大学生命環境系）

受賞題目「放射能汚染の実態解明を目指したセシウムの粘土鉱物への吸着・固定に関する研究」

技術賞 株式会社 安藤・間技術研究所

受賞題目「放射性廃棄物処分におけるベントナイトの大規模施工に向けた研究・技術開発」

論文賞 Junnosuke Kemi, Tomohiro Yamaguchi, Tomohiko Okada, and Seiichi Taruta

受賞論文: INFLUENCE OF NEGATIVE CHARGE DISTRIBUTION AND LOCATIONS OF Na⁺ IONS ON IONIC CONDUCTIVITY OF Na-MICAS, Clay Science, 23(3), 31-39

(2019)

論文賞 Masafumi Okawara, Yasuaki Saito, Kenichi Soga

受賞論文：STUDY ON THE MECHANISM OF CONSISTENCY CHARACTERISTICS OF Na-MONTOMORILLONITE USING SMALL-ANGLE X-RAY SCATTERING METHOD, Clay Science, 23(2), 19-24 (2019).

(2) 学術振興賞

2020 年 9 月 15 日開催の 2020 年度表彰式で、次のとおり学術振興賞の受賞者が表彰された。

荒川京介（東京都立大学 都市環境科学研究科）

「粘土表面がアルデヒド-ジオール平衡へ及ぼす影響」

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部（5 万円）の援助を実施した。

活動中の研究グループは「粘土鉱物を利用した革新的材料創製グループ」の 1 件である。

9. 庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

日本地球惑星科学連合（JpGU）関連事項

2021 年大会：5/30（日）～6/6（日）に完全オンラインで実施。学術関連・一般向け・啓発内容など合わせて全 220 セッションを ZOOM で実施（口頭もポスターも）。ネット休憩室 oVice の導入。セッションコンビナ構成のダイバーシティ推進度（性別、国、キャリア初期人材）をロゴで可視化する試みの実施など。

学協会長会議：2021.05.31. ZOOM 開催（小暮会長が出席、小口が傍聴）。主な内容は、活動報告（日本学術会議の近況報告、大型研究計画ヒアリング（「地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築」など 16 件）

PEPS (Progress in Earth and Planetary Sciences) の最新の IF2020 は 3.604(IF2019=2.508)、今年初めて発表された 5 年 IF が 3.784 となった。

(2) 関連学協会との共催・協賛

学会ホームページに共催・協賛の情報を掲示するページを加えた。

期間中に下記の共催 1 件、協賛 6 件の依頼があった。

共催

- ・第 10 回環境放射能除染研究発表会（2020/8/25～26）（一社）環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

協賛

- ・熱測定オンライン討論会 2020 (2020/10/26～28) 日本熱測定学会
- ・第 56 回 X 線分析討論会 (2020/10/28～29) (公社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
- ・国際粉体工業展東京 2020 (POWTEX TOKYO 2020) (2020/11/18～20) (一社)日本粉体工業技術協会
- ・第 36 回ゼオライト研究発表会 (2020/11/19～20) (一社)日本ゼオライト学会
- ・資源地質学会第 70 年会学術講演会 (2021/6/30～7/2) 資源地質学会
- ・第 57 回 X 線分析討論会 (2021/11/5～6) (公社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会

(3) 会員動向

会員種別	2019/9/10	2020/1/17	2020/8/22	2020/9/15	2021/1/23	2021/7/24	2021/8/21
名誉会員	18	17	14	14	14	12	12
シニア会員	10	10	14	14	13	13	15
正会員	273	273	257(1)	258(1)	259(1)	261(1)	260
学生会員	22	23	18	18	18	18	15
賛助会員 1 級	7	7	7	7	7	7	7
賛助会員 2 級	7	7	7	7	7	7	7
賛助会員 3 級	13	13	13	13	13	13	12
会員数	350	350	330	331	331	331	328

()は、会費 2 年以上未納による会員資格停止者数

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2021 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催した。

9 月 15 日 (水) 第 1 回常務委員会

主な議題：2021 年度年間スケジュール、2021 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 23 日(土)第 2 回常務委員会

主な議題：2021 年度事業中間報告、2021 年度会計中間報告、EBSCO データベースへの登録について、受理論文の早期掲載について、第 64 回粘土科学討論会について、第 65 回粘土科学討論会について、著作権ポリシーについて、その他

7 月 24 日(土)第 3 回常務委員会

主な議題：2021 年度事業中間報告、2021 年度会計中間報告、2022 年度業務委託契約、2022 年度事業計画、2022 年度予算、2021 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2021 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2021 年度総会の開催日時と形式について、第 64 回粘土科学討論会について、学術著作権協会への管理委託について、その他

8 月 21 日(土)第 4 回常務委員会

主な議題：2021 年度事業報告、2021 年度収支決算報告及び監査報告、2022 年度事業計画、2022 年度収支予算、2021 年度総会の日時、場所、議案及びその内容、2021 年度総会の準備、進行等、2021 年度表彰式の進行、第 64 回粘土科学討論会について、学術振興賞基金の今後の運用・積み立てについて、Clay Science 掲載論文の撤回手続きについて、学術著作権協会への管理委託表示について、名誉会員の推薦について、その他

(2) 理事会

9 月 15 日 (火) 第 1 回理事会

主な議題：2021 年度年間スケジュール、2021 年度常務委員の役割分担、各種委員会委員の選出、粘土科学討論会について

1 月 23 日(土)第 2 回理事会

主な議題：2021 年度事業中間報告、2021 年度会計中間報告、EBSCO データベースへの登録について、受理論文の早期掲載について、第 64 回粘土科学討論会について、第 65 回粘土科学討論会について、著作権ポリシーについて、その他

5 月 29 日(土)臨時理事会

主な議題：新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下における第 64 回粘土科学討論会の開催

7月24日(土)第3回理事会

主な議題：2021年度事業中間報告、2021年度会計中間報告、2022年度業務委託契約、2022年度事業計画、2022年度予算、2021年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2021年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2021年度総会の開催日時と形式について、第64回粘土科学討論会について、学術著作権協会への管理委託について、名誉会員の推薦その他

8月21日(土)第4回理事会

主な議題：2021年度事業報告、2021年度収支決算報告及び監査報告、2022年度事業計画、2022年度収支予算、2021年度総会の日時、場所、議案及びその内容、2021年度総会の準備、進行等、2021年度表彰式の進行、第64回粘土科学討論会について、学術振興賞基金の今後の運用・積み立てについて、Clay Science掲載論文の撤回手続きについて、学術著作権協会への管理委託表示について、名誉会員の推薦について、その他

第2号議案 2021年度会計決算報告及び監査報告

一般社団法人日本粘土学会 2021年度会計決算報告書 (2020年8月1日～2021年7月31日)

1. 2021年度一般会計収支計算書
 - (1) 参考:2021年度学会誌出版事業
 - (2) 参考:学会誌在庫状況(資料としての保管分を除く)
 - (3) 参考:2021年度参考粘土試料頒布事業
2. 2021年度学術振興積立金決算
3. 2021年度貸借対照表
4. 2021年度財産目録

計算書類に対する注記

1. 2021年度一般会計収支計算書

一般社団法人日本粘土学会 2021年度 一般会計決算報告書
(2020年8月1日～2021年7月31日)

(単位:円)

科 目	予算額 (2020.8.1～2021.7.31)	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,647,000	2,647,000	0	
正会員会費収入	1,785,000	1,778,000	7,000	当年度7,000円×248名(未納者12名) 過年度7,000円×6名
シニア会員会費収入	49,000	49,000	0	当年度3,500円×13名(未納者1名) 過年度3,500円×1名
学生会員会費収入	63,000	70,000	-7,000	当年度3,500円×20名
賛助会員会費収入	750,000	750,000	0	当年度40,000円×7社、30,000円×7社、20,000円×13社
② 学会誌出版事業収入	1,207,800	1,014,770	193,030	
粘土科学誌収入	700,800	636,790	64,010	
粘土科学誌委託販売収入	52,800	15,840	36,960	9冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	99,000	33,000	66,000	15冊 単価2,200円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	324,000	367,950	-43,950	4件
粘土科学誌バックナンバー収入	5,000	0	5,000	
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学 単発70,000円×1社、年間150,000円×1社
ClayScience誌収入	507,000	377,980	129,020	
ClayScience誌委託販売収入	121,000	66,880	54,120	38冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
ClayScience誌購読料収入	141,000	98,800	42,200	4冊 単価2,200円、英文冊子購読料3,000円×30名
ClayScience誌投稿料・別刷収入	245,000	212,300	32,700	7件
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	500,000	620,500	-120,500	
討論会収入	0	0	0	第64回粘土科学討論会(信州大学)は2021年9月に延期の為、当期発生なし
参加料収入	0	0	0	
見学会収入	0	0	0	
懇親会収入	0	0	0	
広告収入	0	0	0	
講演要旨集(大会時)収入	0	0	0	
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	520,500	-120,500	27件
パンフ広告収入	100,000	100,000	0	1件
④ その他収入	30,000	2,100,836	-2,070,836	
受取利息収入	0	42	-42	
雑収入	30,000	2,100,794	-2,070,794	持続化給付金 200万円、著作権使用料(学術著作権協会) 100,794円
事業活動収入計	4,384,800	6,383,106	-1,998,306	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,969,000	1,305,869	663,131	
粘土科学誌刊行費支出	1,021,000	764,555	256,445	
印刷製本費支出	891,000	630,630	260,370	59巻2号(32頁460部)、59巻3号(36頁460部)、60巻1号(18頁460部)
別刷印刷製本費支出	80,000	102,300	-22,300	59巻2号、59巻3号、60巻1号
J-STAGE登録費支出	50,000	31,625	18,375	59巻2号、59巻3号、60巻1号
ClayScience誌刊行費支出	778,000	410,465	367,535	
印刷製本費支出	628,000	331,540	296,460	CS24巻2・3・4合併号(24頁150部)、CS25巻1・2合併号(26頁150部)、24巻1号(増刷)(30頁30部)
別刷印刷製本費支出	60,000	28,050	31,950	CS25巻1・2合併号
J-STAGE登録費支出	90,000	50,875	39,125	CS24巻2・3・4合併号、CS25巻1・2合併号
発送費支出	170,000	130,849	39,151	59巻2号、59巻3号、60巻1号・CS24巻2・3・4合併号、CS25巻1・2合併号 計4回分
② 一般事業費支出	844,800	485,292	359,508	
討論会開催費支出	0	0	0	第64回粘土科学討論会(信州大学)は2021年9月に延期の為、当期発生なし
討論会運営費支出	0	0	0	
見学会費支出	0	0	0	
懇親会費支出	0	0	0	
ホームページ管理更新費支出	118,800	118,800	0	8-7月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	250,000	213,689	36,311	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	135,000	114,797	20,203	AIPEA2020年度会費
顕彰費支出	50,000	25,806	24,194	賞状・賞状ホルダー
学術振興賞支出	150,000	0	150,000	
会議費支出	131,000	2,200	128,800	
理事会支出	31,000	0	31,000	討論会中止により当日弁当代等の支出予定消失
常務委員会支出	100,000	2,200	97,800	Zoomライセンス契約料(2020/9/15-2020/10/14)
その他会議費支出	0	0	0	
③ 管理費支出	81,550	127,420	-45,870	
租税公課支出	81,550	127,420	-45,870	法人住民税(月割精算分含む)、印紙税
④ 事務費支出	1,740,180	1,690,666	49,514	
業務委託費支出	1,560,180	1,542,050	18,130	8-7月委託費、持続化給付金申請費用、役員変更・登記費用
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	110,000	98,185	11,815	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	40,000	31,871	8,129	8-7月コピー代、角2封筒代
雑費支出	30,000	18,560	11,440	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	4,635,530	3,609,247	1,026,283	
事業活動収支差額	-250,730	2,773,859	-3,024,589	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	0	150,000	
投資活動収入計	150,000	0	150,000	
2. 投資活動支出				
積立金預入支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	150,000	0	150,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-100,730	2,773,859	-2,874,589	
前期繰越収支差額	2,579,542	2,579,542	0	
次期繰越収支差額	2,478,812	5,353,401	-2,874,589	

補足

【収入】

1) 雑収入(著作権使用料): 海外の著作権使用料に関する2019年までの分配が含まれるため、例年より増額。なお、これは他団体等と同様であり、全体の傾向。次年度以降は、例年並みに戻る予定。

(1) 参考:2021年度学会誌出版事業

学会誌出版事業 2021年度 決算報告書
(2020年8月1日～2021年7月31日)

粘土科学誌

(単位:円)

収入の部	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)	支出の部	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)
委託販売収入	15,840	印刷製本費支出	630,630
購読料収入	33,000	別刷印刷製本費支出	102,300
掲載料・別刷収入	367,950	J-STAGE登録費支出	31,625
バックナンバー収入	0		
広告収入	220,000		
収入合計	636,790	支出合計	764,555
収入-支出	-127,765		

ClayScience誌

(単位:円)

収入の部	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)	支出の部	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)
委託販売収入	66,880	印刷製本費支出	331,540
購読料収入	98,800	別刷印刷製本費支出	28,050
掲載料・別刷収入	212,300	J-STAGE登録費支出	50,875
バックナンバー収入	0		
収入合計	377,980	支出合計	410,465
収入-支出	-32,485		

収支

(単位:円)

決算額	収入の部 (2020.8.1～2021.7.31)	支出の部 (2020.8.1～2021.7.31)	収支差額 (2020.8.1～2021.7.31)
粘土科学誌	636,790	764,555	-127,765
ClayScience誌	377,980	410,465	-32,485
発送費		130,849	-130,849
合計	1,014,770	1,305,869	-291,099

(2) 参考:学会誌在庫状況(資料としての保管分を除く)

2021年7月31日現在

(単位:部)

粘土科学誌 巻号	在庫	Clay Science誌 巻号	在庫
55-1	10	21-1	10
55-2	10	21-2	10
55-3	10	22-1	10
56-1	10	22-2	10
56-2,3	10	22-3	10
57-1	10	22-4	10
57-2	10	23-1	10
57-3	10	23-2	10
58-1	10	23-3	10
58-2	10	23-4	10
58-3	10	24-1	10
59-1	10	24-2・3・4	10
59-2	10	25-1・2	10
59-3	10		
60-1	10		

上記の学会誌は、外部倉庫にて保管

販売、新入会員へ配布する分は、上記とは別に必要最小部数を取り置きしている。

(3) 参考:2021年度参考粘土試料頒布事業

参考粘土試料 2021年度 決算報告書
(2020年8月1日～2021年7月31日)

(単位:円)

収入の部	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)	支出の部	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)
試料売り上げ(27件)	520,500	試料代金	171,600
		事務手数料	28,590
		振込手数料	13,499
収入合計	520,500	支出合計	213,689
収入-支出	306,811		

※ 現在、三菱UFJ銀行になっているが、窓口閉鎖が増えている。
翌年度よりゆうちょ銀行でのネットバンキングで支出を行う予定

2. 2021年度学術振興積立金決算

学術振興積立金 2021年度 決算報告書 (2020年8月1日～2021年7月31日)

(単位:円)

科 目	予算額 (2020.8.1～2021.7.31)	決算額 (2020.8.1～2021.7.31)	差 異	備 考
学術振興積立金 増加分				
前年度繰越金	574,732	574,732	0	
受取利息	0	0	0	
学術振興積立金 減少分				
本年度引当金	150,000	0	150,000	
振込手数料	0	0	0	
次年度繰越金	424,732	574,732	-150,000	

3. 2021年度貸借対照表

一般社団法人日本粘土学会 2021年度 貸借対照表
(2020年8月1日～2021年7月31日)

(単位:円)

科 目	期 末 (2021.7.31現在)	期 首 (2020.8.1現在)	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
預 金	7,164,801	4,728,442	2,436,359
未収金	140,600	127,600	13,000
流動資産合計	7,305,401	4,856,042	2,449,359
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) その他の固定資産			
特定資産			
学術振興積立金預金	574,732	574,732	0
その他の固定資産合計	574,732	574,732	0
固定資産合計	574,732	574,732	0
資産合計	7,880,133	5,430,774	2,449,359
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	50,000	-50,000
前受金	44,000	300,000	-256,000
前受会費	1,908,000	1,926,500	-18,500
流動負債合計	1,952,000	2,276,500	-324,500
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,952,000	2,276,500	-324,500
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産	3,154,274	3,154,274	0
当期正味財産増減額	2,773,859	0	2,773,859
正味財産合計	5,928,133	3,154,274	2,773,859
負債及び正味財産合計	7,880,133	5,430,774	2,449,359

補足

・前受金、前受会費：期首の金額については、期首時というより前期末残であり、期首においては実際は振替済となっている。また、期末の金額は、2022年度分の雑誌収入、会費に相当する。

4. 2021年度財産目録

一般社団法人日本粘土学会 2021年度 財産目録
(2020年8月1日～2021年7月31日)

(単位：円)

科 目	場所・物等	目的等	期 末 (2021.7.31現在)	期 首 (2020.8.1現在)	増 減
I. 資産の部					
1. 流動資産					
預金			7,164,801	4,728,442	2,436,359
郵便振替	ゆうちょ銀行	年会費受入用	959,216	1,084,457	-125,241
普通預金	みずほ銀行	運転資金	5,576,264	2,753,767	2,822,497
	三菱UFJ銀行	運転資金	629,321	890,218	-260,897
未収金 掲載料、参考粘土			140,600	127,600	13,000
流動資産合計			7,305,401	4,856,042	2,449,359
2. 固定資産					
その他の固定資産 特定資産					
普通預金	みずほ銀行	学術振興積立金	574,732	574,732	0
固定資産合計			574,732	574,732	0
資産合計			7,880,133	5,430,774	2,449,359
II. 負債の部					
1. 流動負債					
未払金			0	50,000	-50,000
前受金			44,000	300,000	-256,000
	CS冊子体購読料		44,000	80,000	-36,000
	広告収入		0	220,000	-220,000
前受会費			1,908,000	1,926,500	-18,500
	正会員		1,246,000	1,218,000	28,000
	シニア会員		42,000	38,500	3,500
	賛助会員		620,000	670,000	-50,000
流動負債合計			1,952,000	2,276,500	-324,500
2. 固定負債					
固定負債合計			0	0	0
負債合計			1,952,000	2,276,500	-324,500
正 味 財 産			5,928,133	3,154,274	2,773,859

提案

現在、金融の電子化、オンライン化に伴い、銀行の支店閉鎖、窓口業務の有料化などの流れがあり、実際、三菱UFJ銀行については事務局附近の支店が閉鎖し、事務局作業に不便が生じている。そこで、現在三菱UFJ銀行の口座で取り扱っている参考粘土試料の取引についても、ゆうちょ銀行での取扱いとしたい。

その場合、郵便振替/ゆうちょ銀行の目的欄に「運転資金」を追記予定。

また、本学会の取り扱い金額が総額1000万円を超えるような高額ではないことから、将来的には、ゆうちょ銀行の口座に一本化して事務業務の効率化・軽減を図ることも検討していく。

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、預金、未収金、前受金、前受会費を含めることにしている。

2. 次年度繰越金の内容は、次の通りである。

科 目	当期末残高
預金	7,164,801
未収金	140,600
前受金	(44,000)
前受会費	(1,908,000)
次期繰越収支差額	5,353,401

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によって行っている。

2021 年 8 月 6 日

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本粘土学会

会長 小暮 敏博 殿

一般社団法人日本粘土学会

監事 月村 勝宏



監事 志々目 正高



私たち監事は、一般社団法人日本粘土学会の 2020 年 8 月 1 日から 2021 年 7 月 31 日までの 2021 年度の監査を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、一般社団法人日本粘土学会の常務委員会及び理事会等の会議に出席して理事及び使用人等から業務の執行状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

また、2021 年 8 月 6 日に当該事業年度に係る事業報告書、計算書類（収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書）及びその附属明細書等の調査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 常務委員及び理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 計算書類及びその附属明細書等は、当法人の収支、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 単年度収入程度の正味財産期末残高を保有することが適切な会運営に必要であると考えます。今期の正味財産期末残高は、単年度予算額に近い額となっています。今期の正味財産期末残高の増加は持続化給付金他の特殊事情によります。来期以降平常状態に戻っても着実な会運営を行ってください。

以上

一般社団法人日本粘土学会 2022年度事業計画書（案）

（2021年8月1日～2022年7月31日）

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

学会誌「粘土科学」を下記の通り3回発行する。

2021年8月：第60巻2号を発行予定。掲載内容：第64回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、日本粘土学会2021年度総会案内、論文、学会記事、その他

2021年12月：第60巻3号を発行予定。掲載内容：2021年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告、2021年度学術振興賞の受賞報告、2022年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、2022年度日本粘土学会学術振興賞の募集、2023・2024年度役員候補者の推薦公募、第65回粘土科学討論会の予告、粘土科学討論会報告、研究グループ活動報告、論文、学会記事、その他

2022年3月：第61巻1号を発行予定。掲載内容：第65回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み等）、論文、解説、学会記事、その他

(2) Clay Science

2021年9月：2021年度第1回Clay Science編集委員会(web)

英文学会誌「Clay Science」を下記の通り発行する

2021年9月 Vol. 25, No. 3 発行予定

2021年12月 Vol. 25, No. 4 発行予定

2022年3月 Vol. 26, No. 1 発行予定

2022年6月 Vol. 25, No. 2 発行予定

Clay Scienceへの投稿数を増やすため、会員および会員以外の国内・国外研究者への積極的な投稿呼びかけを行う。著名研究者への総説執筆依頼を検討する。

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第64回粘土科学討論会(信州大学)の準備と開催について

2021年8月 発表形式の確定と必要な機材の確認・準備。講演要旨集の作成。プログラムに掲載する広告の募集。参加者の名札および領収書類等の準備。など

2021年9月 会場の設営。使用する機材（会場で必要な機器：プロジェクター、マイク、レーザーポインタ、ベル、ストップウォッチなど、リモートで必要な機器）の準備。会場で販売する学会誌等（粘土科学、Clay Science、討論会要旨集）のバックナンバーと領収書の準備。開会。

2021年10月 討論会の会計処理と会計報告書の作成、粘土科学に掲載する討論会報告書の作成。

2021年1月 常務委員会及び理事会で第64回粘土科学討論会の開催・会計報告。

(2) 第65回粘土科学討論会(島根大学)の2022年9月開催への準備

2021年12月 討論会の開催予告をホームページに掲載する。

2022年1月 討論会の開催計画を作成する。

2022年2月 事務局から関連学会への共催・後援の依頼を行う

2022年3月 第65回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込等）を粘土科学およびホームページに掲載する。

2022年6月 講演申込の受付を行う。

2022 年 7 月 講演プログラム（案）を作成する。第 65 回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）を粘土科学に掲載する。講演要旨に掲載する企業広告の募集を行う。

3. シンポジウム・セミナーの開催

第65回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

第 65 回粘土科学討論会でのシンポジウム・セミナーの企画及び実施に向けた準備を行う。シンポジウムテーマは理事会に諮って決定する。4～5名の講師を依頼し、開催時間は実行員会と相談の上決定する。シンポジウムの開催に向けて、以下の準備を行う。

2022年1月末シンポジウム概略を草案

2022年2月末スケジュール決定、講演者確定・依頼

2022年3月末粘土科学及びHP掲載の案内作成

2022年6月末講演者確定への連絡、予稿原稿の依頼

2022年7月中予稿原稿の収集・提出

4. 参考試料

日本粘土学会参考粘土試料として、次の7種類の粘土鉱物試料の頒布を行う。

JCSS-1101 カオリナイト(関白)

JCSS-1301 デイックナイト(勝光山)

JCSS-2101 パイロフィライト(勝光山)

JCSS-3101 モンモリロナイト(月布)

JCSS-3102 モンモリロナイト(三川)

JCSS-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)

JCSS-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)

5. 広 報

学会ホームページの更新、粘土科学Q&Aに対する対応、バナー広告の掲載、ツイッターを利用した各種案内等の送信を行う。2022年度のホームページの主な更新内容の予定を以下に示す。

2021年10月：2021年度総会議案書・総会議事録、2022年度第1回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2021年12月：第65回粘土科学討論会予告の掲載。

2022年1月：2022年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、2022年度日本粘土学会学術振興賞の募集の掲載。

2022年2月：2022年度第2回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2022年3月：第65回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み予告等）の掲載。

2022年6～7月：第65回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、各種申込みフォーム、2022年度第3回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2022 年 8 月：総会開催のお知らせ、2022 年度第 4 回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

6. 渉 外

AIPEA ニュースレターの作成及び送付、2024 年に予定している米国粘土学会と Asian Clay の合同会議に向けた協力等を行う。また、粘土に関する国際会議においてアジア粘土会議としてセッションを

立てるなど、日本やアジアの粘土研究のアクティビティを紹介できる活動を行う。

7. 表 彰

(1) 学会賞等

2022 年度日本粘土学会賞等（学会賞、功績賞、奨励賞、技術賞）の受賞候補者の推薦を募集する。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。選考委員会において受賞候補者の選考を行う。また、粘土科学誌および Clay Science 誌に掲載された論文の中から論文賞受賞候補論文の選考を行う。各賞の受賞候補者数は、学会賞：1 名以内、功績賞：若干名、奨励賞：2 名以内、技術賞：2 名(件)以内、論文賞：原則として 2 編とする。

(2) 学術振興賞

2022 年度学術振興賞の募集を行う。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。応募者に対して選考委員会で受賞候補者の選考を行う。受賞者数は 2 名以内とする。

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部を援助する。研究グループの活動期間は原則として 3 年とし、活動資金の援助は活動期間を通して 1 回限り 5 万円とする。

9. 庶 務

(1) 他学会等との連絡・協力

公益社団法人日本地球惑星科学連合の団体会員として地球惑星科学系学会との連携を継続するとともに、日本学術会議の動向に関する情報収集を行う。

(2) 関連学協会との共催・協賛

粘土科学にかかわる各部門の学協会が開催する学会、講演会、展示会等の共催・協賛を行いつつ、連携と協力を進める

(3) 会員動向

会員動向の適切な把握に努めると共に、ホームページの会員マイページの利用を勧める。

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2022 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催する。

9 月 15 日（水）第 1 回常務委員会

主な議題：2022 年度常務委員の役割分担、2022 年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 22 日（土）第 2 回常務委員会

主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、第 65 回粘土科学討論会について、その他

7 月 23 日（土）第 3 回常務委員会

主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、2023 年度事業計画、2023 年度予算、2022 年度学会賞等の選考結果、2022 年度学術振興賞選考結果、第 65 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 20 日（土）第 4 回常務委員会

主な議題：2022 年度事業報告、2022 年度会計決算及び監査報告、2022 年度総会議案書、第 64 回

粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

2022 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催する。

9 月 14 日（火）第 1 回理事会

主な議題：2022 年度常務委員構成、2022 年度委員会委員（学会賞等選考委員会委員、学術振興積立金運営委員会委員、他）の選出、2022 年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 22 日（土）第 2 回理事会

主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、第 65 回粘土科学討論会について、その他

7 月 23 日（土）第 3 回理事会

主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、2023 年度事業計画、2023 年度予算、2022 年度学会賞等の選考結果、2022 年度学術振興賞選考結果、第 65 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 20 日（土）第 4 回理事会

主な議題：2022 年度事業報告、2022 年度会計決算及び監査報告、2022 年度総会議案書、第 65 回粘土科学討論会について、その他

一般社団法人日本粘土学会 2022年度一般会計収支予算
(2021年8月1日～2022年7月31日)

(単位:円)

科 目	2022年度 予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	2021年度 予算額 (2020.8.1～2021.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,630,500	2,647,000	-16,500	(参考:2021年6月末)
正会員会費収入	1,806,000	1,785,000	21,000	7,000円×258名
シニア会員会費収入	45,500	49,000	-3,500	3,500円×13名
学生会員会費収入	49,000	63,000	-14,000	3,500円×14名
賛助会員会費収入	730,000	750,000	-20,000	40,000円×7社、30,000円×7社、20,000円×12社
② 学会誌出版事業収入	935,280	1,207,800	-272,520	
粘土科学誌収入	570,600	700,800	-130,200	
粘土科学誌委託販売収入	17,600	52,800	-35,200	10冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	33,000	99,000	-66,000	15冊 単価2,200円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	300,000	324,000	-24,000	
粘土科学誌バックナンバー収入	0	5,000	-5,000	2021年度実績:0冊
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学 単発70,000円×1社 年間150,000円×1社
ClayScience誌収入	364,680	507,000	-142,320	
ClayScience誌委託販売収入	66,880	121,000	-54,120	38冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
ClayScience誌購読料収入	97,800	141,000	-43,200	4冊 単価2,200円、英文冊子体購読料3,000円×29名、2,000円×1名
ClayScience誌投稿料・別刷収入	200,000	245,000	-45,000	
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	1,165,000	500,000	665,000	
討論会収入	665,000	0	665,000	会員7,000円×80名、学生会員3,000円×10名、非会員15,000円×5名の試算(例年の1/2～1/3)
参加料収入	0	0	0	第64回粘土科学討論会(信州大学)
見学会収入	0	0	0	第64回粘土科学討論会(信州大学)は、見学会、懇親会なしの予定
懇親会収入	0	0	0	
広告収入	0	0	0	
講演要旨集(大会時)収入	0	0	0	
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	400,000	0	25件
バナー広告収入	100,000	100,000	0	1件
④ その他収入	30,000	30,000	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	30,000	30,000	0	著作権使用料(学術著作権協会)など
事業活動収入計	4,760,780	4,384,800	375,980	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,250,000	1,969,000	-719,000	
粘土科学誌刊行費支出	735,000	1,021,000	-286,000	
印刷製本費支出	600,000	891,000	-291,000	60巻2号(460部)、60巻3号(460部)、61巻1号(460部)
別刷印刷製本費支出	100,000	80,000	20,000	
J-STAGE登録費支出	35,000	50,000	-15,000	
ClayScience誌刊行費支出	395,000	778,000	-383,000	CS25巻(150部)
印刷製本費支出	300,000	628,000	-328,000	
別刷印刷製本費支出	60,000	60,000	0	
J-STAGE登録費支出	35,000	90,000	-55,000	
発送費支出	120,000	170,000	-50,000	3回分相当
② 一般事業費支出	1,398,000	844,800	553,200	
討論会開催費支出	665,000	0	665,000	
討論会運営費支出	665,000	0	665,000	収入の8掛け相当と試算
見学会費支出	0	0	0	第64回粘土科学討論会(信州大学)は、見学会、懇親会なしの予定
懇親会費支出	0	0	0	
ホームページ管理更新費支出	128,000	118,800	9,200	8-7月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	250,000	250,000	0	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	120,000	135,000	-15,000	AIPEA2021年度会費
顕彰費支出	25,000	50,000	-25,000	賞状・賞状ホルダー
学術振興費支出	150,000	150,000	0	
研究グループ活動資金支出	50,000	0	50,000	1件: 粘土鉱物を利用した革新的材料創製グループ
会議費支出	0	131,000	-131,000	
理事会支出	0	31,000	-31,000	オンライン化、コロナ対策弁当不支給
常務委員会支出	0	100,000	-100,000	同上、および交通費削減
その他会議費支出	25,200	0	25,200	ZOOM使用料(個人:2,100×12か月)
③ 管理費支出	70,000	81,550	-11,550	
租税公課支出	70,000	81,550	-11,550	法人都民税、印紙税
④ 事務費支出	1,635,077	1,740,180	-105,103	
業務委託費支出	1,505,077	1,560,180	-55,103	8-7月委託費(選挙費用を含む※1)
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	90,000	110,000	-20,000	サーバー料金、送料(選挙郵送料※1)
事務消耗品費支出	20,000	40,000	-20,000	8-7月コピー代等
雑費支出	20,000	30,000	-10,000	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	4,353,077	4,635,530	-282,453	
事業活動収支差額	407,703	-250,730	658,433	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	150,000	0	
投資活動収入計	150,000	150,000	0	
2. 投資活動支出				

科 目	2022年度 予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	2021年度 予算額 (2020.8.1～2021.7.31)	差 異	備 考
積立金預入支出	2,080,000	0	2,080,000	基金への積み立て※2
投資活動支出計	2,080,000	0	2,080,000	
投資活動収支差額	-1,930,000	150,000	-2,080,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-1,522,297	-100,730	-1,421,567	
前期繰越収支差額	5,353,401	2,579,542	2,773,859	
次期繰越収支差額	3,831,104	2,478,812	1,352,292	

※1 2021-2022年度役員選挙における委託費(郵送費用含む)146,190円について、2020年度決算では、業務委託費103,551円、通信運搬費42,639円(発送料・投票用紙の受取人払)であったため、年間活動に関する費用の他にこれらを計上。

※2 前年度黒字額の75%を基金に投じる計算(千円未満切り捨て)。黒字額が15万円未満の場合、全額を基金に投じ、赤字の場合は、投資は0円となる見込み。

第5号議案 名誉会員の推薦

2021年7月20日付で、黒田一幸会員が日本粘土学会名誉会員に推薦されました。2021年7月24日開催の2021年度第3回理事会で審議した結果、黒田一幸会員を名誉会員とすることを提案します。

氏名： 黒田一幸
満年齢： 70 歳

推薦理由：

黒田一幸会員は、日本粘土学会会員として粘土科学の諸分野を長きにわたり先導され、我が国における粘土研究の発展にご尽力されました。特に、層状ケイ酸塩のインターカレーションロ有機誘導体化や多孔質化に関して、世界を先導する数多くのご業績を挙げられ、日本粘土学会賞(平成8年)をはじめ、日本化学会賞など数多くの賞を受賞されています。本学会においては、評議員および常務委員として日本粘土学会の運営に長きに渡りご貢献され、平成9年度から10年度に常務委員長、平成21、22、25、26年度に副会長、平成27年度から28年度に学会長を務められました。学会長としては、一般社団法人化されたばかりの学会を軌道に載せる重要な役割を果たされました。また、後進の育成にも熱心に取り組まれ、多くの優れた人材を様々な粘土科学関連分野に送り出されました。

以上のように、黒田一幸会員は、粘土科学及び日本粘土学会の発展に長年にわたり大きく貢献され、名誉会員としての十分な資格をお持ちであると考えられますので、ここに強く推薦申し上げます。

2021年8月9日付で、福岡会員が日本粘土学会名誉会員に推薦されました。2021年8月21日開催の2021年度第4回理事会で審議した結果、福岡喜章会員を名誉会員とすることを提案します。

氏名： 福岡喜章
満年齢： 71 歳

推薦理由：

福岡喜章会員は、日本粘土学会会員として粘土科学の諸分野を長きにわたり先導され、我が国における粘土研究の発展にご尽力されました。特に、粘土鉱物／有機高分子ハイブリッド(クレイポリマーナノコンポジット)材料の開発、ナノ構造制御材料技術の研究に関して、世界を先導する数多くのご業績を挙げられ、日本粘土学会賞(2000年)をはじめ、AIPEA MEDAL(2009年)、日本化学会化学技術賞(1998年)、科学技術長官賞 研究功績者(1998年)など数多くの賞を受賞されています。

本学会においては、平成13・14・15・16年度の副会長および評議員として長きにわたって粘土学会の発展に貢献されてきました。また、2009年からはJ-PARC特定中性子線施設登録機関CROSS東海のサイエンスコーディネータとして国内外の粘土科学者への中性子散乱実験のサポートで粘土科学の発展にご尽力されてきました。

以上のように、福岡会員の粘土科学に対する貢献はきわめて顕著なものがあり、名誉会員として推薦されるべき十分な資格をお持ちであると考えられますので、ここに強く推薦申し上げます。

II. 報告事項

1. 2020 年度学会賞等の受賞者

- (1) 学会賞 蛭名 武雄(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 東北センター長)
受賞題目「粘土を主成分とする機能性膜材料の開発・製品化・国際標準化に関する研究」
- (2) 功績賞 井伊 伸夫元会員(国立研究開発法人 物質・材料研究機構 名誉研究員)
受賞題目「層状複水酸化物に関する材料研究を通じた粘土科学発展への貢献」
- (3) 奨励賞 吉田 純会員(日本大学 文理学部 化学科)
受賞題目「粘土表面への金属錯体の固定化手法の開発と2次元配列構造の解明」
- (4) 技術賞 原子力発電環境整備機構 技術部
受賞題目「地層処分の安全性を確保するための技術開発とその包括的な取りまとめ」
- (6) 論文賞 S. Aisawa, J. Sang, A. Masubuchi, H. Hirahara, and E. Narita
受賞論文: INFLUENCE OF NEGATIVE CHARGE DISTRIBUTION AND LOCATIONS OF Na⁺ IONS ON IONIC CONDUCTIVITY OF Na-MICAS. Clay Science, 23(3), 31-39 (2019).
論文賞 三好陽子・鈴木正哉・宮腰久美子・高木哲一
受賞論文: スポット法により測定したベントナイトのメチレンブルー吸着量. 粘土科学 第59巻 第2号 33-45(2020)

2. 2020 年度学術振興賞受賞候補者の応募と審査結果

日本粘土学会学術振興積立金運営委員会では、学術振興賞募集について日本粘土学会ホームページで周知したところ、2021 年度学術振興賞(応募期間: 令和3 年 4 月 1 日から 4 月 15 日まで)の応募はありませんでした。学術振興積立金運営委員会の 4 名の委員(伊藤健一委員、手束聡子委員、會澤純雄委員、八田)は、以下の判断をいたしましたのでご報告いたします。

現在の状況は、

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html にある通り、

1. 日本からの渡航者や日本人に対して入国制限措置をとっている国・地域(84 か国/地域)
2. 日本からの渡航者や日本人に対して入国に際して条件や行動制限措置を課している国・地域(169 か国/地域)

一般社団法人日本粘土学会会員学術振興積立金運営委員会としては、現在の状況を踏まえて、本年度の学術振興積立金を運用しない。

3. 第 64 回粘土科学討論会の開催状況(8 月 21 日現在)

第 64 回粘土科学討論会は、信州大学長野キャンパスおよびリモートのハイブリッド形式で開催。講演数、参加登録者、懇親会参加者、見学会参加申し込み者は次のとおりです。

(1) 講演数

特別講演1件、シンポジウム講演 5件、一般講演 口頭発表 39 件、
ポスター発表(フルリモート形式) 21 件
合計 66 件

(2) 参加登録者

正会員(含シニア会員, 名誉会員)・共催学会員 53 名、
学生会員・共催学会学生会員 9 名、
非会員 6 名、学生非会員 15 名、
合計 83 名

4. その他